

## ラボ・パーティ

ラボ・パーティ (Labo Party) とは、現在 (株) ラボ教育センターが運営する外国語教育団体。通称ラボ、LABO。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

株式会社ラボ教育センター 代表者 時本 学

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル 16 階

設立 1962 年 11 月

事業内容 言語教育・国内交流 (キャンプ)・国際交流・出版事業

資本金 1 億円売上高 32 億 (2008 年 6 月期)

従業員数 87 名 (2008 年 10 月)

(株) テック (TEC・東京イングリッシュセンター) を母体として [1966 年](#) に発足。創立者は詩人の[谷川雁](#)と榊原陽 (現: [ヒッポファミリークラブ](#))。「ことばがこどもの未来をつくる」がスローガン。本部は東京都新宿区。[大阪](#)、[名古屋](#)、[福岡](#)、[アメリカ](#)などにも支部をもつ。原則として 0 歳 (6 ヶ月~) から大学卒業までの学生を対象とする。

### ◎ ラボとは [\[編集\]](#)

子どもに対し、主に英語を主体としたコミュニケーション教育、異文化教育などを行う。英語力習得だけが目的ではなく、文法や構文の学習は行われない。[英検](#)や [TOEIC](#)、[TOEFL](#) 等の指導も行っていない。全国に約 3600 教室が存在し、それぞれの教室をパーティと呼ぶ。会員は 6 万人ほど。

なお先生のことはチューターと呼び、生徒のことはラボっ子と呼ぶ。

### ◎ 組織・活動 [\[編集\]](#)

その授業は主に、チューターと呼ばれる教師個人の家や地域の集会所に小グループの子ども達が集まる形 (パーティ活動) で行われる。各グループは「〇〇パーティ (〇〇はチューターの姓)」と呼ばれる。

チューターは一定水準以上の語学教育能力を持ちながら家庭に入っている女性を中心。組織は全国に広がり、数万の会員がいる。[谷川雁](#)は[左派](#)として知られ、初期には労使の対立 (「テック争議」) で世を賑わせたこともあるが、現在のラボ・パーティは教育機関として政治的、[宗教的中立](#)を守り、特定の政治、宗教団体との関連も特に認められない。

幼児から大学生までを会員としている。主な活動は、英語 (時に他の外国語) と日本語で劇 (テーマ活動と呼ばれる) を作り上げたり、[ソングバード](#) (SB) と呼ばれる[アメリカ](#)、[韓国](#)、[スペイン](#)等世界中の童謡や伝統的な子供達の歌を歌いながら踊ったり、テーマ活動の発表を中心としている。

ラボのテーマ活動の特徴として、大道具から小道具にいたるまでの一切の道具類や衣装を使用しない事があげられる。背景も存在しない。ラボっ子の発表時の服装はTシャツにジーンズであるのが通例だ。

よって、すべての表現は（例えば、家や森・海など）身体表現である。また、一般的な演劇のように台詞だけで展開していくのではなく、詳細な状況説明をするナレーターが存在する。

パーティで開かれるパーティ活動の他、地区や支部単位での活動がある。各パーティによっても差があるが、ラボっ子およびチューターは、三ヶ月～半年に一回、近隣の他のラボ・パーティと互いにテーマ活動やソングバードを見せあい交流する、発表会を一つの目標として取り組んでいる。この発表会は年に1回～数回程度で、支部（これは一般的な、「[関東](#)」などのくくりと同規模）や全国規模で発表会が行われる。

更にラボ・パーティ全国レベルの活動として、[サマーキャンプ](#)、[ウィンターキャンプ](#)、[スプリングキャンプ](#)など全国からのラボっ子の集まるキャンプや、親子で参加することの可能な「ファミリーキャンプ」などが行われている。

キャンプは全国で毎年数万人規模の参加者が集う一大イベントとなっている。そこではラボのマークやライブラリーの絵を使った帽子やボールペン、バッジなどのグッズも販売されている。

コミュニケーションや異文化交流など教育全般に対する活動が中心である。英語（外国語）を教えるというよりは、総合的なコミュニケーション教育の側面が非常に強い。

また、ライブラリー（後述）により子供たちの想像力を掻き立て、語学を超えた教育を目指している。語学力を付けるだけの組織ではないため、もちろん英検や[TOEIC](#)、[TOEFL](#)等の指導も一切行っていない。また、活発な国際交流活動の歴史も長く、1972年より北米[4Hクラブ](#)を中心とした一ヶ月ホームステイや1988年には高校生1年留学を行い、諸外国からのホームステイの受け入れ等も行っている。

現在は交流の範囲を[アメリカ](#)、[カナダ](#)、[オーストラリア](#)、[韓国](#)、[中国](#)、[メキシコ](#)、[ニュージーランド](#)等に広げている。

## ◎ ラボっ子 [\[編集\]](#)

ラボっ子とは、ラボ・パーティにおいて活動を行っている子供たちをさす。男女関係がなくすぐに仲良くなれるのが特徴。

その年代は幅広く0歳児からのプレイルーム、幼稚園、小中高大生や社会人までにも及ぶ。

パーティーでの活動の中心的役割を担ったり、地区の活動にも参加しリーダーとして活躍する事も多い、また高校生は季節ごとに行われる各地の[キャンプ](#)でのシニアメイトとして活動する事も可能である。大学生では、パーティーでの活動のほか支部活動に参加し、キャンプでの大学生コーチ、カレッジメイト、表現活動、などの活動に参加できる。

#### ◎ テューター [\[編集\]](#)

テューターとはラボ・パーティにおいて活動をラボっ子たちの先生をしている成人女性のことをさす。基本的には女性しかれない。

ラボっ子同様に年齢層は幅広く、20代から70歳以上のテューターも存在する。テューターは月に一度から数ヶ月に一度の割合でテューター研修というものを行っている。テューターがキャンプに参加すると、キャンプ中はロッジマザーなどと呼ばれ、ロッジのお母さんのような役割を果たしている。なお、毎回ではないが、ラボっ子と一緒にホームステイに行き、ステイ先でのラボっ子の様子を聞いたり、日本の本部へ連絡する役割も一部テューターが補っている。ホームステイに行くテューターのことを通称シャペロンという。

#### ◎ 教材 [\[編集\]](#)

テーマ活動や[ソングバード](#)に使われる音源を収録したCDを(ラボ・)ライブラリーとよび、通常4枚組1セットで販売され、一部は一般の書店でも市販されている。

#### ◎ ソングバード [\[編集\]](#)

不定期に新作が発表される。主に英語圏の童謡、わらべ歌(ナーサリーライム)等を英語のみで収録し、ラボっ子は音楽にあわせ踊ったり、ジェスチャーをして楽しむ。[フォー](#)  
[クダンス](#)に近い。なお、1990年代のCD化の際にリニューアル録音された歌も多い。

#### ◎ テーマ活動用CD [\[編集\]](#)

年に1~2本新作が発売される。英語と日本語が(中国語などの言語が使われたものもある)1センテンスずつ交互に語られ、CDを聞くだけで物語が把握できるようになっている。とりあげる題材などは、「[注文の多い料理店](#)」([宮沢賢治](#))や「[ピーターパン](#)」、さらには[シェイクスピア](#)作品など有名な作品も多く、「[オバケのQ太郎](#)」もそのうちのひとつとなっている。

ただ単に文を朗読するのではなく、効果音や音楽も多く使われ、映像は無いが、映画並みであるともいえる。

例えば物語を語る[ナレーター](#)には[久米明](#)、[江守徹](#)、[岸田今日子](#)、[宇野重吉](#)、[橋爪功](#)、[渡辺篤史](#)、[戸田恵子](#)、[上川隆也](#)などの著名人、更に、[観世流能楽師](#)・[観世栄夫](#)が参加した作品もある。また、ドラえもん 第一期の声でお馴染みの[大山のぶ代](#)や、[成田剣](#)、[速水奨](#)など、現役で活躍し人気のある声優も朗読などで参加している。

絵本等によらないオリジナルのイラストも、絵本作家の[司修](#)ら以外にも、[赤瀬川原平](#)や[高松次郎](#)のような現代画家まで含み、音楽担当者にも[林光](#)や[間宮芳生](#)、[三枝成彰](#)らの名が見られる。一部の作品ではラボっ子がストーリーの原作を手がけ、また声優として参加している。

## キャンプ [\[編集\]](#)

長野県[黒姫高原](#)に3万坪にもおよぶラボランド黒姫（黒姫ラボランド）とよばれるキャンプ施設を所有している。そこで、春、夏、冬、GW 期間などに全国からラボっ子が集まり、キャンプが行われる。キャンプといってもテントで生活するのではなく、ペンションと同じようなロッジが基本で、ラボっ子はロッジで寝泊りしたり、野外活動を楽しんだりする。それぞれ有名な山地や大河からロッジ名をとり、アンデス1 やロッキー2 のようによばれる。なおキャンプ期間外は貸し[別荘](#)として一般にも開放されている。

3泊4日で行われることが多く、1棟30人前後で、それにシニアメイトが男女各1名（ただしシニアメイト世代になると男の数が減るため女同士のガールズロッジなどがある。男二人はない）、ロッジマザー（チューター）1~2人がつく。ラボランド黒姫以外は各地の旅館、ペンション、温泉地などをキャンプ地にあてている。近年の開催地は下記のとおり。

スプリングキャンプ：ラボ・ランド黒姫

サマーキャンプ：[ニセコ](#)、[蔵王](#)、ラボ・ランド黒姫、湯坪、釜島、[大山](#)、石徹白

ウィンターキャンプ：ラボ・ランド黒姫、[大山](#)、[蔵王](#)、湯坪

ファミリーキャンプ：ラボ・ランド黒姫

過去には[道後山](#)（[広島県](#)）、[高梁](#)（[岡山県](#)）、[高島](#)（[岡山県](#)、[瀬戸内海](#)）、[阿蘇](#)（[熊本県](#)）、[座間味島](#)（[沖縄県](#)）（[五箇山](#)） 平郡島（[山口県](#)）などでも開催されていた。

キャンプ地では野外でフィールド活動などを行っている。開催地や季節によって異なるが、黒姫の場合は夏は黒姫山登頂、冬は[クロスカントリースキー](#)などが行われている。また、三日目の夜にはキャンプファイヤーを行い、「キャンプソング」を歌う。キャンプ地、黒姫は「ラボランド」と言われる施設の為、キャンプファイヤー後は「ラボランドの歌」というテーマ曲を歌いキャンプの締めくくりを飾る。

キャンプでは、ラボっ子たちは「キャンパー」と呼ばれ、割りふられた各ロッジ（活動場所）ごとに班として行動し、「シニアメイト」と呼ばれるリーダーが年下のラボっ子をまとめ、プログラムの進行を行う。

シニアメイトになる事を希望するラボっ子は、原則として高校生以上で、「シニアメイト」登録を行った上で研修を受け、その後晴れてロッジ活動を運営する事になる。各ロッジには、ロッジマザーまたはグループマザーと呼ばれる数名のチューターが配置されるが、チューターは運営にはあまり関与せず、シニアメイトに全面的な運営権限がある。ただし、大枠のプログラムはきまっている。

シニアメイトの上に、「大学生コーチ」が存在している。大学生コーチは多くのシーンでラボ活動の企画・進行を事務局に代わって行う。そのため、大学生コーチ会議で決まった事は、全国のラボ活動に影響を及ぼす。キャンプにおいても、シニアメイトに対する指示を行う等、キャンプ全体の進行を大きく担っている。資格としては、大学生である事が原則である。

LABO ホームページより <http://www.labo-party.jp/>

## Labo Party の特徴

**英語と一緒にもっと大切なことも。**

ラボ・パーティは、英語だけを学ぶ「英語教室」ではありません。人と人とのコミュニケーションに必要な「言語/社会力 教育プログラム」です。日本語と英語をミックスして学ぶ方式をベースにした教材や、音楽や演劇を通して学ぶ活動プログラム。また、いろいろな年齢の子どもたちが交わるよう配慮したクラス編成。40年の経験と実績が証明する教育プログラムで、言語力はもとより、想像力、表現力、協調性、思いやりなど、子どもたちの未来を豊かにする「大切なこと」をたくさん学べます。

**だから豊かに。だからのびのび。**



### 音と絵

感受性が鋭い子どものうちは「本物」にふれる機会を与えることが大切です。ラボ・ライブラリーは、国内外の実力派俳優・画家などを起用した朗読と絵、一流オーケストラによる音楽、さらに現地ロケによるライブ音声の実録など、子どもたちの感受性を満足させる本物の音づくりと、何度聞いても楽しめるクオリティに徹底してこだわった教材です。



外国語を学ぶ子どもに必要なのは「言葉そのものへの興味」。ラボ・パーティでは、母語である日本語に触れる機会も大切に考え、英語と日本語をミックスさせたプログラムを行っています。プログラムや教材に日本語を織り交ぜることで、英語の理解を促進すると同時に、英語・日本語の枠を越えたコミュニケーションの楽しさを学ぶきっかけになるのです。



ラボ・パーティの大きな特徴のひとつに「テーマ活動」があります。英語と日本語が流れる物語のCDを聞き、その物語をテーマに、子どもどうして話し合い、協力して英語のセリフや流れを決め、最後にみんなで英語劇を演じるグループ活動のことです。豊かな母語と生きた英語、自主性や表現力を同時に育むことができます。



最近では、年齢差のある子どもどうして遊ぶ機会が減り、子ども社会が希薄になってきました。ラボ・パーティでは、あえて年齢差のあるグループを活動の基本単位にしています。年齢をこえた大勢の仲間と過ごすことで、子どもどうしがお互いに育て合い、その過程で、個性や能力の違いを受け入れる力や思いやり、協調性といった社会力が育っていきます。



ラボ・パーティは、希望者が参加できるホームステイプログラムを用意しています。北米・オーストラリア・中国・韓国など世界各国で、実際の生活を体験しながら、生きた外国語や異文化と交流できる体験は、一生の思い出となると同時に、自分のコミュニケーション力や勇気を試すチャンスです。語学習得の意欲に弾みがつきます。

ラボ・パーティの5つの特徴は、「聞く→想像する→考える→話し合う・協力する→表現する」という要素でつながっています。これらの要素が、豊かな母語、生きた英語、理解力、表現力、自主性、協調性などコミュニケーションに必要な力を総合的に育むのです。

#### ちなみに料金（ライブラリー料金・キャンプ参加費用別）

プレイルーム会員 0歳～幼稚園入園前（満3歳の4月迄）のお子さまがお母さんと一緒に活動を楽しむコースです。	入会金 4,725円	会費（月額） 4,725円
幼児会員 （満3歳の翌4月～小学校入学前）	入会金 5,250円	会費（月額） 6,300円
小学生以上会員 小学生から大学生までコース。	入会金 7,350円	会費（月額） 7,350円
フェロウシップ会員(大人)	入会金 無料	会費（月額） 6,300円

山田君は、小学生の時から、ラボに参加を始めて以来、熱心に活動を続け、現在は「大学生コーチ」としてスプリングキャンプの企画を連日、深夜まで、検討会に夢中でとりこんでいます。